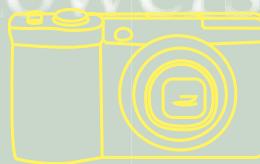


大阪市

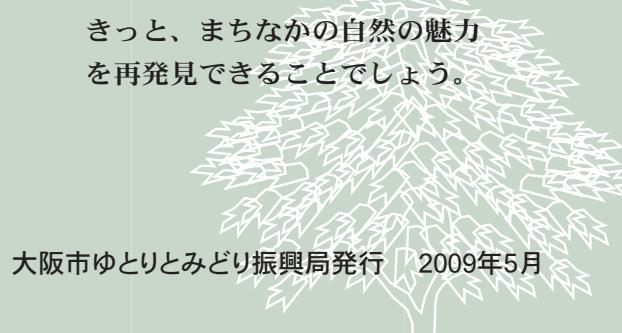
みどりの ウォーキング コースマップ

OSAKA
Walking MAP

じょうとうく 城東区



大阪市内の花と緑の名所を巡る
ウォーキングマップです。
マップを片手に、ゆっくりと樂
しみながら歩いてみて下さい。
きっと、まちなかの自然の魅力
を再発見できることでしょう。



大阪市ゆとりとみどり振興局発行 2009年5月

城東区

川のある風景を愛でながら地域の水の歴史を偲ぶ!

城東区には城北川や平野川といった川がいくつか流れしており、本コースではこうした川沿いの遊歩道や川跡の緑道を通ります。また身近な道路に季節感のある花木を整備した「花木通り」として区の花「モクレン」の並木道や城北川遊歩道のサクラ並木など季節の花の道を楽しめます。水面を渡る風を感じて歩いてみましょう。



市民ボランティアの方々によって、花を種子から育てて区内の各所で飾っています。花づくりや水やりを通じて子供から高齢者まで世代を超えて交流するとともに、まちの環境美化を目指しています。

昭和11年開園の歴史ある公園です。園内には、イチョウやクスノキ、サクラ、ウメなどが植えられていますが、やはり見ごたえはハナミズキです。4月には白や薄紅の花が3週間ほど咲き、訪れる人の目を楽しませてくれます。大阪市の「花の公園（ハナミズキ・フジ）」に選ばれています。

城北運河沿いの両岸を市民の散策路として整備したものです。サクラが主体の並木は春になるとあたりをピンクに染め、訪れる方の目を楽しませています。地元ボランティアによる花の植え替え・水やりなど、行政と区民の協働による「河川アメニティづくり」が進められています。

楠根川はかつて平野川分水路と寝屋川を結んでいました。この川跡にせせらぎやベンチ、植栽を配し遊歩道として整備されました。遊歩道にはケヤキやクスノキ、サクラなどが植えられ、花や紅葉など四季折々の自然を楽しめる地元住民の憩いの場となっています。

東成区との境界であった千間川跡の1.6 kmを道路と歩道そして公園などに整備したものです。歩道にはトウカエデやヤナギ、サクラの並木が続き、植込みにはシャリンバイなどが植えられています。また、地元の人々の協力により「花のプランター」などが飾られ、歩道に彩りを添えています。

仁徳天皇を御祭神とし古来、境内のクスノキの大木が御神木として崇敬されています。現在はクスノキの他に、ムクノキやセンダン、ケヤキ、イチョウなどの大木が生茂り市の保存樹林にも指定されています。また境内地は大坂夏の陣の佐竹義宣の本陣跡とも言われています。

